

岐阜県立飛騨特別支援学校で防災講座を行いました

令和7年9月30日（火）、岐阜県立飛騨特別支援学校で高等部2年生20名に防災講座を行いました。学校の近くには、川上川が流れています。講座は、一昨年に続いて2回目となります。

講座では、伊勢湾台風や9.12豪雨災害、「線状降水帯」で大雨となった東海豪雨、飛騨市で甚大な被害となった平成16年の台風23号災害や飛騨市・高山市に大雨特別警報が発令された平成30年7月豪雨など過去に発生した水害について学びました。

また、VRでの浸水疑似体験や伊勢湾台風のA I 語り部との対話・防災クイズ体験なども行い、生徒たちはA I 語り部の「伊勢湾太郎」さんに「復興にはどれくらいかかったんですか？」、「台風が来たらどこに避難したらいいですか？」などの質問をして、熱心に解答をメモしていました。

最後に代表で挨拶をした生徒さんからは、「VRやA I 語り部との対話体験を通して、楽しく学ぶことが出来ました。VRを体験し、浸水した時にどのような選択をすれば良いのか勉強になりました。」との感想を頂きました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中日新聞、岐阜新聞に取材頂きました。

